

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区 分	内 容															
テーマ・事業名	小・中学校における防災公開授業 【事業費予算 800千円】															
事業目的・概要	子どもたちが、災害時に学校や地域と協力して行動し、被害を最小限におさえるために必要なことを考えるきっかけとするため、また地域と学校が連携して防災活動に取り組めるよう意識の向上を図るために公開授業を実施する。															
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>区内の下記2校で実施</p> <p>新潟市立青山小学校 【日時・会場】 平成28年9月24日(土) 午前8時30分～午前9時20分 新潟市立青山小学校体育館 【講師・テーマ】 講師 : 危機管理教育研究所 代表 国崎 信江 氏 テーマ : 地震や津波に備えて～みんなができること～ 形 式 : 講演会形式 【参加者】 青山小学校5、6年生 84名、地域住民等 20名 計104名</p> <p>新潟市立中野小屋中学校 【日時・会場】 平成28年10月1日(土) 午前9時45分～午後0時35分 新潟市立中野小屋中学校体育館ほか 【講師・テーマ】 講師 : 公益社団法人 中越防災安全推進機構 テーマ : 地域合同防災学習 形 式 : 学年別及び全体でのワークショップ 【参加者】 中野小屋中学校生 50名、地域住民等 11名 計61名</p>															
事業の評価 (地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性 ・効率性の評価など)	<p>【アンケート結果】</p> <p>◆調査方法 児童・生徒 … 事前配布、後日無記名回答 地域住民等 … 当日配布、退場時無記名回答</p> <p>◆新潟市立青山小学校 ・有効回答数/率 … 児童82名/97.6%、地域住民等10名/50.0% ・アンケート結果(児童対象)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>①授業を受けて、どう思ったか[とても良かった・良かった]</td> <td>92.7%</td> </tr> <tr> <td>②よく理解できたか[よく理解できた・だいたい理解できた]</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td>③学んだことをお家の人とやってみようと思うか[とても思う・思う]</td> <td>86.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆新潟市立中野小屋中学校 ・有効回答数/率 … 生徒50名/100.0%、地域住民等8名/72.7% ・アンケート結果(生徒対象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ワークショップの種別</th> <th>学年別</th> <th>全 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①わかりやすかったか[とてもわかりやすい・わかりやすい]</td> <td>96.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>②よく理解できたか[よく理解できた・だいたい理解できた]</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【良かった点】 ・青山小学校では、地区合同防災訓練との連携により、授業後に地域での訓練を受けることで、防災意識の向上に繋がる効果的なものとなった。 ・中野小屋中学校では、成長段階に応じた学年別ワークショップや避難所運営を想定した全体ワークショップを行うことで、実働を意識した防災力向上に繋がる効果的なものとなった。</p> <p>【改善点】 ・地域住民、保護者等の参加が少なかったため、より効果的な広報手段等を検討する必要がある。</p>	①授業を受けて、どう思ったか[とても良かった・良かった]	92.7%	②よく理解できたか[よく理解できた・だいたい理解できた]	97.6%	③学んだことをお家の人とやってみようと思うか[とても思う・思う]	86.6%	ワークショップの種別	学年別	全 体	①わかりやすかったか[とてもわかりやすい・わかりやすい]	96.0%	100.0%	②よく理解できたか[よく理解できた・だいたい理解できた]	100.0%	100.0%
①授業を受けて、どう思ったか[とても良かった・良かった]	92.7%															
②よく理解できたか[よく理解できた・だいたい理解できた]	97.6%															
③学んだことをお家の人とやってみようと思うか[とても思う・思う]	86.6%															
ワークショップの種別	学年別	全 体														
①わかりやすかったか[とてもわかりやすい・わかりやすい]	96.0%	100.0%														
②よく理解できたか[よく理解できた・だいたい理解できた]	100.0%	100.0%														
備考																

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	高齢化をテーマにした講演会 【事業費予算 800 千円】
事業目的・概要	超高齢社会を迎え、支え合いの仕組みが求められる中、地域医療を通じて様々な助け合い活動の実践者である鎌田實諏訪中央病院名誉院長をお迎えし、地域で命を支えるとは何か、地域に求められることは何かを具体的な事例によりお話しいただき、西区における助け合い活動実践へのきっかけとなるような講演会を開催する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【日時・会場】 平成28年9月11日(日)午後1時30分～4時30分 西新潟市民会館2階多目的ホール</p> <p>【講師】 諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實 氏</p> <p>【講演会テーマ】 地域で命を支える ～地域包括ケア・健康・絆を考える～</p> <p>【参加者】 300名</p> <p>【その他の取組み】 本講演会と併せて、本州で近接する政令市西区長が集い、区民の生活に直結する地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みについて、事例発表等により情報共有と検討を深める「本州東日本西区長サミット2016」と連携し実施した。</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出とその解決策】 西区の高齢化率は、平成28年3月末現在で27.4%に達し、4人に1人以上が高齢者となる中、地域包括ケアシステムの構築に向けた支え合いの仕組みづくりが大きな課題となっていることから、西区における助け合い活動実践へのきっかけとなるよう、講演会を開催した。</p> <p>【アンケート結果】 ◆調査方法:来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。 ◆有効回答:190名(有効回答率63.3%) ①講演はいかがでしたか[大変参考になった・参考になった]…89.5% ②今後も高齢化講演会があれば参加したいですか[参加したい]…87.4%</p> <p>【良かった点】 ・アンケート意見においても、今後の生き方や、支え合い実践への参考となったとする感想が多くあり、講演会の目的を達するものであった。 ・第2部本州東日本西区長サミット2016と連携することで、基調講演の趣旨をパネルディスカッションにより更に深め、実効性を高めることができた。 ・講演会終了後に、講師サイン会を設定することで、参加者と講師が直接触れ合う機会を創出し、参加者の満足度の更なる向上が図られた。 ・坂井輪図書館等の協力により、事前の講師企画展のほか、当日には「おでかけ図書館」などを実施し、理解の増進と利便性の向上が図られた。</p> <p>【改善点】 ・第2部の実施により、開演時間が長いと感じられた方のご意見が複数あった。 ・当日運営において、キャンセル待ち券の発行など新たな取組みを行ったものの、待ちスペースの確保や対応など、より円滑な方法を検討していく必要がある。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業 【事業費予算 150 千円】
事業目的・概要	子どもからお年寄りまで年代や性別を問わず、誰もが楽しめるスポーツとして広がりを見せている「スポーツ鬼ごっこ」について、多世代交流や青少年の健全育成など、その多様な効果が発揮されるよう普及啓発を行う。 については、まだスポーツ鬼ごっこを知らない多くの子どもたちに直接魅力を感じてもらえるよう体験会を実施する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	【日時・会場】 平成28年10月2日(日)午後2時00分～3時00分 みどりと森の運動公園 屋内コート 【講師及び運営】 Oni base niigata (愛好会) 【参加者】 ○参加者52名(こども41名, 保護者等11名)
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	【地域課題の抽出とその解決策】 スポーツ鬼ごっこは、西区においてもふれあいスクールやスポーツ振興会等の取組みにより、徐々に広がりを見せているものの、ニュースポーツであるため知名度も低く、普及・定着するためにはきっかけと継続が必要となっている。 スポーツ鬼ごっこの多様な効果に着目し、屋外スポーツが減少する新潟の冬場においても取り組めるといった地域適合性も踏まえ、この普及啓発事業の取組みを行う。 【アンケート結果】 ◆調査方法:参加者を対象に当日アンケート配布を行い、終了時に無記名回答。 ◆有効回答:44名(有効回答率84. 6%) ①楽しかったですか[とてもたのしかった・たのしかった]…79.5% ②ルールは理解できましたか[よくわかった・わかった]…88.6% ③またやりたいと思いますか[とてもおもう・おもう]…81.8% 【良かった点】 ・約7千人が来場する「ふれ！ふれ！西区ふれあいまつり」において、体験会を開催することで、参加者をはじめ、その他多くの来場者にスポーツ鬼ごっこを認知してもらうことができた。 ・実施にあたっては、昨年度に発足支援を行った推進団体「Oni base niigata」と協働して運営を行うことができ、結果、経費の削減を図ることができた。 ・体験会の開催について、西区かがやき大使を活用してPRを行うことで、広くメディア掲載されるなど、スポーツ鬼ごっこの取組みについて一層の周知が図られた。 【改善点】 ・不特定多数の子どもたちを対象としたイベント実施時には、チーム内の状況にも細かに目を配れるよう、チーム毎に専任のスタッフを配置する必要がある。また、子どもにも分かり易い案内表示などの検討。 ・地域における自発的な取組みが活発化するよう、既ライセンス取得者のスキルアップやネットワークの強化が図られる方策を検討していく必要がある。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容																	
テーマ・事業名	西区特産物・観光地カレンダー 【事業費予算 1,100千円】																	
事業目的・概要	区の特産物の消費や交流人口の拡大を図るため、区の特産物・観光地などの写真等を用いたカレンダーを作成し、区内の市公共施設及びイベント、または区外にて配布する。																	
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【カレンダーの規格・構成等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4 32ページ(A3二つ折り・中綴じ) ・月ごとに、区の特産物・観光地等の写真とキャラクターを合わせて掲載し、区の魅力を紹介。 ・掲載するキャラクターのデザインや既存キャラクターのアレンジは、新潟大学教育学部の学生に依頼。 <p>【昨年度からの変更点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーの制作に市民が参加できるように、掲載写真の公募を実施。 ・県内有数の生産量を誇るブロッコリーを新キャラクターとして追加。 ・巻末ページを充実し、特産物のレシピ、西区かがやき大使の紹介等を掲載。 <p>【配布期間】</p> <p>平成28年10月22日(西区アートフェスティバル)～平成29年1月31日</p> <p>【作成部数】 13,000部</p> <p>【配布先内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>配布先</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">区内</td> <td>市公共施設等 配布</td> <td>7,500部</td> </tr> <tr> <td>上記以外の施設 掲示・配布(福祉・学校等)</td> <td>3,000部</td> </tr> <tr> <td>イベント配布(西区アートフェスティバル等)</td> <td>900部</td> </tr> <tr> <td>区外</td> <td>他区役所 掲示・配布</td> <td>700部</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>表参道ネスパス、西区かがやき大使</td> <td>900部</td> </tr> </tbody> </table>		区分	配布先	部数	区内	市公共施設等 配布	7,500部	上記以外の施設 掲示・配布(福祉・学校等)	3,000部	イベント配布(西区アートフェスティバル等)	900部	区外	他区役所 掲示・配布	700部	県外	表参道ネスパス、西区かがやき大使	900部
区分	配布先	部数																
区内	市公共施設等 配布	7,500部																
	上記以外の施設 掲示・配布(福祉・学校等)	3,000部																
	イベント配布(西区アートフェスティバル等)	900部																
区外	他区役所 掲示・配布	700部																
県外	表参道ネスパス、西区かがやき大使	900部																
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出とその解決策】</p> <p>区の特産物の消費や交流人口のさらなる拡大を図るには、より効果的なPRが必要である。そこで、日常的に目に触れる機会が多いカレンダーをPR媒体に選択し、区の魅力を盛り込んだ内容となるよう制作し、区内外で配布を行った。</p> <p>【アンケート結果】</p> <p>◆調査方法:配布場所にアンケート用紙を設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答数</td> <td>1,519人</td> <td>1,219人</td> </tr> <tr> <td>①カレンダーはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]</td> <td>85.4%</td> <td>89.1%</td> </tr> <tr> <td>②キャラクターはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]</td> <td>79.0%</td> <td>82.3%</td> </tr> <tr> <td>③掲載情報の中で役に立つものは 西区ガイドマップ 41.9% 西区イベント情報 34.0% レシピ 22.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載写真の公募により、市民参加が促され、住民と一体となって制作された魅力あるカレンダーとなった。 ・特産物や観光地について「魅力を感じた」「知らなかった」等の意見があり、目的である区の魅力をPRする役割を果たすことができた。 ・認知度が向上し、配布を待ち望んでいたとの意見が多くあり、区民をはじめとして愛着をもってもらえるものとなっている。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募掲載された写真の地域に偏りがあったため、次年度はテーマを決めて、毎月公募や委員等による収集方法を選択することで、市民参加を促しつつ、より効果的なPRができるカレンダーとなるよう検討。 			H28	H27	回答数	1,519人	1,219人	①カレンダーはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]	85.4%	89.1%	②キャラクターはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]	79.0%	82.3%	③掲載情報の中で役に立つものは 西区ガイドマップ 41.9% 西区イベント情報 34.0% レシピ 22.6%			
	H28	H27																
回答数	1,519人	1,219人																
①カレンダーはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]	85.4%	89.1%																
②キャラクターはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]	79.0%	82.3%																
③掲載情報の中で役に立つものは 西区ガイドマップ 41.9% 西区イベント情報 34.0% レシピ 22.6%																		
備考																		

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	商店街等活性化研究・実践事業 【事業費予算 250千円】
事業目的・概要	「西区拠点商業活性化推進事業計画」における拠点商業地について、地域性を把握する区内の大学と連携して調査・研究、企画書作成を行い、商店街・商工会関係者などへ提案を行うことで、商店街等の活性化に寄与する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	【対象地域】 内野地域拠点商業地 【連携した大学】 ・新潟大学 ・新潟国際情報大学 【手法等】 ・調査・企画書作成業務を各大学へ委託 ・企画を基に商店街・商工会等関係者へ提案 【提案内容】 ・新潟大学「Café四ツ角」 空き家を、内野地域の情報発信ツールとして、また、学生、地域住民の交流スペースとして活用し、魅力ある拠点とすることで、来訪者を増加させ、交流を促進する提案。 ・新潟国際情報大学「うちのDEこすぷれ」 コスプレイベントの定期開催を通し、若者の誘客、内野地域の飲食店などの利用に繋げ、賑わいを創出する提案。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性 ・効率性の評価など)	【地域課題の抽出とその解決策】 「西区拠点商業活性化推進事業計画」の個別事業には、マンパワーの不足等により、検討が進まず未実施の事業がある。そこで、商店街等の活性化を図るため、現地調査、関係機関との意見交換を踏まえながら、大学と連携し、未実施事業の推進も含めて、活性化の方策について、研究・実践することとした。 【良かった点】 ・大学、学生と連携することで、若者の柔軟な発想を得ることができた。 ・内野地域でまちづくりを行う人材の発掘・育成を目的とする西地区公民館の「うちの発掘ふるじょくと」と連携することで、内野で活動する人材や組織と接点ができ、また多くの関係者に向けて企画提案を行うことができた。 ・自治協議会として、商店街等の活性化に焦点をあてることで、地域課題としての認識が深まり、検討のきっかけをつくることができた。 【改善点】 ・提案内容について、大学の研究チームだけではなく、地域とともに取り組んでいけるように、引き続き研究・実践を行っていく必要がある。 ・将来的には、地域が主体となって盛り上げていけるような実施方法を検討していく必要がある。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	<p>第4回西区アートフェスティバル 【事業費予算 1,900 千円】</p>
事業目的・概要	<p>【目的】 ・「アート」の表現を通して西区全体の文化風土を耕して、区民の一体感を醸成する。 ・西区でアートの表現活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供し、幅広い区民から知ってもらおう。 ・大学の存在をはじめ、学術・文化豊かな西区のパワーを発信する。 【概要】 ・合奏、合唱、芸能、ダンスの団体の発表の場として、また、西区にちなんだ多様なアート作品展示により、西区の宝を共有するイベントを開催した。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p><音楽・芸能部門> 平成28年10月23日(日)10:00～16:05 黒崎市民会館ホール 【出演団体】16団体、320人 《合奏》新通ジュニアウインドアンサンブル、日本文理高校吹奏楽部、新潟大学吹奏楽部、西内野コミ協吹奏楽団、新潟ドルチェ・マンドリンアンサンブル 《合唱》小針中学校合唱部、新潟国際情報大学合唱部、コーラスたまたま箱 《芸能》笠木小学校笠木樽砦、五十嵐中学校箏曲部、新潟楽所 《ダンス》ハラウプアアロアロ、黒Dan、新潟民謡扇寿会 《特別ゲスト》新潟大学音楽科宇野哲之、ルヴォワール</p> <p><アート展示部門> 平成28年10月22日(土)12:00～17:00、10月23日(日)9:00～16:05 黒崎市民会館ホワイエ等 【作品内容】 ①屋外彫刻などによる空間演出(新潟大学教育学部彫刻ゼミ) ②区内職人等による工芸作品 ③西川絵画ポスターコンクール入選作品 ④西区ふれあいカレンダーのイラスト原画及び公募写真</p> <p>【来場者】:延べ846人</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>【地域課題の抽出とその解決策】 西区は、坂井輪地域・西地域・黒崎地域の3地域で構成されており、各地域の文化活動は盛んだが、西区が一体となった文化活動が見られなかった。そこで、区民の力、区民の宝を共有するため、西区で音楽芸能活動及びアート作品の制作に取り組んでいる団体の発表の場を創出し、区民の一体感を醸成を図った。</p> <p>【アンケート結果】 ◆調査方法:来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。 ◆有効回答:354名(有効回答率41.8%) ➢アートフェスティバルはいかがでしたか [とても良い…64.7%, まあまあ良い…15.5%, ふつう…5.4%, やや不満…0%, 不満…0%, 無回答…14.4%]</p> <p>【評価(成果)】 ・アンケートにおいて、全数回答ではないものの、不満意見が無く、高い満足度と継続の要望が多く寄せられた。 ・広報チラシ印刷配布の見直しにより、経費削減を行う一方で、アート展示など企画内容の充実を図り、来場者数の増加に繋げることができ、高い公益性と実効性が得られた。 ・プログラムの構成については、プロのゲストによる特別演奏をはじめ、どの時間帯から鑑賞しても楽しめるような様々なジャンルを織り交ぜた編成とし、来場者から好評価を得られた。 ・バルーンアーチによる会場装飾により、明るい雰囲気と盛り上げを創出することができた。 ・前回の課題であった休憩が多いとの意見に対しては、出演団体数を増やしたことで、また効率の良い舞台転換に努めることで更なる改善を図った。</p> <p>【課題】 ・来場者の年齢層について、若い世代の参加も進み前回に比べ改善が図られたものの、幅広い世代の区民が一体となって楽しんでいただけるよう、引き続き企画内容の充実に向けて取り組んでいく必要がある。</p> <p>【今後の取組】 ・今後も出演団体の参加意欲に繋がるような発表の場として開催を継続していく。また、今回新たに実施したアート展示についても総じて好評であり、次回に向けて一層の内容充実に努めていく。 ・来場者により一層楽しんでいただけるよう、スタッフのおもてなし講習会の開催を検討する。</p>
備考	